

目 次

第3版はしがき

第2版はしがき

I 捜査の意義

1	任意処分における有形力行使	001
	岐阜呼気検査拒否事件〔最3小決昭和51年3月16日〕	
2	おとり捜査の適法性	005
	大阪大麻所持おとり捜査事件〔最1小決平成16年7月12日〕	
3	写真撮影	010
	京都カード強取強盗殺人事件〔最2小決平成20年4月15日〕	
4	秘密録音	014
	三里塚闘争会館事件〔千葉地判平成3年3月29日〕	
5	宿泊をともなう取調べ	017
	高輪グリーンマンション事件〔最2小決昭和59年2月29日〕	
6	職務質問継続のための有形力行使	022
	瑞穂町ラブホテル覚せい剤所持事件〔最1小決平成15年5月26日〕	
7	職務質問にともなう所持品検査	027
	米子銀行強盗事件〔最3小判昭和53年6月20日〕	
8	職務質問・任意同行要求のための留置き	031
	会津若松採尿事件〔最3小決平成6年9月16日〕	

II 対物的強制処分

9	差押え対象物の範囲	036
	大阪南賭博場開張事件〔最1小判昭和51年11月18日〕	
10	捜索・差押え令状執行中の写真撮影	039
	田端押収物写真撮影事件〔最2小決平成2年6月27日〕	
11	電磁的記録物の差押え	042
	オウム真理教越谷アジト捜索事件〔最2小決平成10年5月1日〕	
12	報道機関に対する捜索・押収	044
	博多駅事件〔最大決昭和44年11月26日〕	
13	差押え対象物の概括的記載	049
	都教組事件〔最大決昭33年7月29日〕	
14	捜索場所の範囲	050
	大阪ボストンバッグ捜索事件〔最1小決平成6年9月8日〕	
15	捜索令状の呈示と立入り	053
	京都五条警察署マスターキー事件〔最1小決平成14年10月4日〕	

16	逮捕着手前の搜索・差押え	055
	大阪西成ヘロイン所持事件 [最大判昭和36年6月7日]	
17	逮捕場所から移動したうえでの身体搜索	058
	和光大学内ゲバ事件 [最3小決平成8年1月29日]	
18	検証令状による電話傍受	062
	旭川覚せい剤事件 [最3小決平成11年12月16日]	
19	宅配物のエックス線検査	066
	大阪宅配便エックス線検査事件 [最3小決平成21年9月28日]	
20	GPS 捜査の適法性	071
	大阪連続窃盗GPS検査事件 [最大判平成29年3月15日]	
21	強制採尿	078
	江南警察署採尿事件 [最1小決昭和55年10月23日]	
III	対人的強制処分	
22	勾留場所と取調べの違法性	084
	引野口事件 [福岡地小倉支判平成20年3月5日]	
23	現行犯逮捕の適法性／逮捕の違法と勾留請求の違法	089
	西ノ京恐喝未遂事件 [京都地決昭和44年11月5日]	
24	勾留の要件	095
	京都地下鉄烏丸線痴漢事件 [最1小決平成26年11月17日]	
25	別件逮捕・勾留と余罪取調べの限界	098
	浦和パキスタン人放火事件 [浦和地判平成2年10月12日]	
26	再逮捕・再勾留の可否	103
	養育院前派出所爆弾事件 [東京地決昭和47年4月4日]	
IV	被疑者の防御手段	
27	接見指定の合憲性・適法性	108
	安藤・斎藤事件 [最大判平成11年3月24日]	
28	逮捕直後の初回接見の申出に対する接見指定の適法性	115
	第二内田事件 [最3小判平成12年6月13日]	
29	起訴後の余罪捜査と接見指定	118
	水戸収賄事件 [最1小決昭和55年4月28日]	
30	秘密接見の保障範囲	120
	富永事件 [福岡高判平成23年7月1日]	
31	接見時の写真撮影	127
	竹内事件 [東京高判平成27年7月9日]	
32	起訴後の被告人取調べ	132
	秋田スリ事件 [最3小決昭和36年11月21日]	
V	公　　訴	
33	公訴権濫用	135
	チッソ水俣病被害補償傷害事件 [最1小決昭和55年12月17日]	

34	一部起訴	139
	西明寺業務上横領事件〔最大判平成15年4月23日〕	
35	起訴状への証拠の添付引用と予断排除原則	142
	宇和島生糸恐喝事件〔最3小判昭和33年5月20日〕	
36	公訴時効の起算点	146
	チツソ水俣病刑事案件〔最3小決昭和63年2月29日〕	
<hr/>		
VII	訴 因	
37	訴因の特定	150
	大阪傷害包括一罪事件〔最1小決平成26年3月17日〕	
38	覚せい剤使用の訴因の特定	156
	広島吉田町覚せい剤使用事件〔最1小決昭和56年4月25日〕	
39	訴因変更の要否の基準	160
	青森保険金目的放火・口封じ殺人事件〔最3小決平成13年4月11日〕	
40	訴因と異なる過失態様を認定する場合の訴因変更の要否	167
	鴨川町業過事件〔最3小判昭和46年6月22日〕	
41	縮 小 認 定	172
	福岡前夫殺害事件〔福岡高判平成20年4月22日〕	
42	訴因変更の可否—公訴事実の同一性の判断基準	178
	自動車運転免許試験汚職事件〔最2小決昭和53年3月6日〕	
43	覚せい剤使用罪における訴因変更の可否	181
	栃木茨城覚せい剤使用事件〔最3小決昭和63年10月25日〕	
44	訴因変更の時機的限界	184
	沖縄復帰要求デモ事件〔福岡高那霸支判昭和51年4月5日〕	
45	訴因変更を促す求釈明と変更命令	188
	日大闘争事件〔最3小判昭和58年9月6日〕	
<hr/>		
VII	公判準備手続	
46	公判前整理手続における証拠開示	191
	偽1万円札行使事件〔最3小決平成19年12月25日〕	
47	公判前整理手続を経た後の訴因変更	196
	世田谷進路変更事件〔東京高判平成20年11月18日〕	
48	公判前整理手続における主張明示義務の範囲	201
	福井強盗致傷事件〔名古屋高金沢支判平成20年6月5日〕	
49	公判前整理手続を経た事件と被告人質問の制限	205
	和歌山当たり屋事件〔最2小決平成27年5月25日〕	
<hr/>		
VIII	公 判 手 続	
50	保釈要件の解釈	210
	LED照明詐欺事件〔最1小決平成26年11月18日〕	
51	保釈と余罪	214
	大分保釈許可取消事件〔最3小決昭和44年7月14日〕	

52	弁護人の義務	216
	栃木最終弁論事件〔最3小決平成17年11月29日〕	
53	共同被告人の証人適格	219
	たばこ専売法違反共謀事件〔最2小判昭和35年9月9日〕	
54	迅速な裁判	221
	高田事件〔最大判昭和47年12月20日〕	
55	証人の保護と裁判公開・証人審問権	225
	愛知筋違い意趣返し強姦事件〔最1小判平成17年4月14日〕	
56	被告人の訴訟能力	228
	岡山聴覚障害者窃盗事件〔最3小決平成7年2月28日〕	
57	証人尋問における被害再現写真の利用	231
	川口強制わいせつ事件〔最1小決平成23年9月14日〕	
58	即決裁判手続の合憲性	234
	業務上横領即決裁判事件〔最3小判平成21年7月14日〕	
59	裁判員裁判の合憲性	238
	千葉ダイヤモンド事件〔最大判平成23年11月16日〕	
IX	証拠能力①	
60	科学鑑定の証拠能力	242
	足利幼女殺害事件〔最2小決平成12年7月17日〕	
61	同種前科による事実認定	246
	うっふん解消放火事件〔最2小判平成24年9月7日〕	
62	伝聞の意義①	249
	米子強姦致死事件〔最2小判昭和30年12月9日〕	
63	伝聞の意義②	252
	東京飯場経営者恐喝事件〔東京高判昭和58年1月27日〕	
64	供述不能要件のあてはめ	254
	群馬死体遺棄事件〔東京高判平成22年5月27日〕	
65	退去強制と検察官面前調書	257
	タイ人女性管理売春事件〔最3小判平成7年6月20日〕	
66	相反供述要件のあてはめ	261
	高松放火詐欺事件〔最2小決昭和32年9月30日〕	
67	検証立会人の供述	265
	犯行被害再現実況見分調書事件〔最2小決平成17年9月27日〕	
68	再伝聞供述の証拠能力	267
	福原村放火未遂事件〔最3小判昭和32年1月22日〕	
69	特信書面	270
	ロッキード事件児玉・小佐野ルート事件〔東京地決昭和53年6月29日〕	
70	証拠とすることの同意	272
	大阪西成覚せい剤所持事件〔大阪高判平成8年11月27日〕	
71	証明力を争う証拠	274
	東住吉事件〔最3小判平成18年11月7日〕	

X 証拠能力②	—	—
72 余罪と量刑	277
リベンジポルノ事件 [東京高判平成27年2月6日]		
73 違法収集証拠の証拠能力①	285
大阪天王寺覚せい剤所持事件 [最1小判昭和53年9月7日]		
74 違法収集証拠の証拠能力②	289
奈良生駒覚せい剤使用事件 [最2小判昭和61年4月25日]		
75 違法収集証拠の証拠能力③	291
大津違法逮捕事件 [最2小判平成15年2月14日]		
76 違法収集証拠の証拠能力④	294
札幌おとり捜査事件 [札幌地決平成28年3月3日]		
77 国際捜査共助による供述調書の証拠能力	300
福岡一家殺害事件 [最1小判平成23年10月20日]		
78 約束による自白	303
児島税務署収賄事件 [最2小判昭和41年7月1日]		
79 偽計による自白	307
旧軍用拳銃不法所持事件 [最大判昭和45年11月25日]		
80 黙秘権不告知と自白の任意性	311
いわき市覚せい剤譲受け帮助事件 [浦和地判平成3年3月25日]		
81 接見制限と自白	316
茨城県会議長選挙贈収賄事件 [最2小決平成元年1月23日]		
82 違法取調べと自白の証拠能力	320
ロザール事件 [東京高判平成14年9月4日]		
83 反復自白の証拠能力	323
神戸クラブ従業員宅放火事件 [最3小判昭和58年7月12日]		
84 自白から派生した証拠物の証拠能力	327
不逮捕等約束事件 [東京高判平成25年7月23日]		
85 取調べ記録媒体の実質証拠としての利用の可否	332
千葉DVD証拠請求事件 [東京高判平成28年8月10日]		
XI 補強法則	—	—
86 補強の範囲	338
鳥栖無免許運転事件 [最1小判昭和42年12月21日]		
87 共犯者の自白	342
広島保険金騙取事件 [最1小判昭和51年10月28日]		
XII 適正な事実認定	—	—
88 合理的疑いを差し挟む余地のない証明	345
TATP殺人未遂事件 [最1小決平成19年10月16日]		
89 情況証拠による犯罪事実の認定	347
大阪平野区母子殺害放火事件 [最3小判平成22年4月27日]		

90	折一的認定	350
	紋別生死不明事件〔札幌高判昭和61年3月24日〕	
91	厳格な証明と自由な証明	356
	茨城老女誘拐殺人事件〔最1小決昭和58年12月19日〕	

XIII 上 訴

92	無罪判決後の勾留	357
	東電従業員殺人事件〔最1小決平成12年6月27日〕	
93	控訴審による職権調査の限界	359
	新潟賭博場開張図利事件〔最1小決平成25年3月5日〕	
94	控訴審における事実の取調べ	363
	北巨摩郡はみ出し通行事件〔最1小決昭和59年9月20日〕	
95	書面審理による破棄自判有罪の可否	365
	竜丸密輸出事件〔最大判昭和31年7月18日〕	
96	事実誤認の意義	367
	チョコレート缶事件〔最1小判平成24年2月13日〕	

XIV 裁判の効力

97	一事不再理効の範囲	370
	八王子常習特殊窃盗事件〔最3小判平成15年10月7日〕	
98	形式裁判の内容的確定力	375
	大阪偽装死亡事件〔大阪地判昭和49年5月2日〕	
99	破棄判決の拘束力	378
	八海（やかい）事件〔最2小判昭和43年10月25日〕	

XV 非常救済手段

100	明白性の意義	384
	財田川事件〔最1小決昭和51年10月12日〕	

判例索引

執筆者紹介